

2013年4月9日

公益社団法人 日本糖尿病協会  
サノフィ株式会社

## ヘモグロビン・エー・ワン・シー(HbA1c)認知向上運動 2013 「測ることからはじめる 糖尿病の予防と治療」 広島と長野で開催

公益社団法人 日本糖尿病協会(理事長:清野裕、所在地:東京都千代田区、以下「日本糖尿病協会」とサノフィ株式会社(代表取締役社長:ジェズ・モールドイング、本社:東京都新宿区、以下「サノフィ」)は、2013年6月16日(日)に紙屋町シャレオ(広島県広島市)において、また、6月30日(日)にアリオ上田(長野県上田市)において、糖尿病について学ぶイベント「測ることからはじめる 糖尿病の予防と治療」を開催いたします。

HbA1cは採血時から過去1~2カ月の平均血糖値を反映する値で、糖尿病の診断・治療の指標となる重要な検査値です。日本糖尿病協会とサノフィは、HbA1cを正しく理解し、自分自身のHbA1cの値を知っていただくことを目的に、2006年より毎年「ヘモグロビン・エー・ワン・シー(HbA1c)認知向上運動」を全国で実施してきました。

本年4月1日より、日常臨床・健診など全ての分野において、従来日本で使用されていたJDS値から国際標準値であるNGSP値に統一され、これまで以上にHbA1cに関する認知向上が求められています。今回のイベントでは広島および長野の会場において、糖尿病専門医の先生方より糖尿病の予防や治療方法などについてお話しいただくとともに、会場内では、自分のHbA1c値がその場でわかる無料測定コーナーなど、HbA1c認知向上のために企画された様々なブースを展開する予定です。

糖尿病患者数は年々世界規模で増加し、2011年に3億6600万人であった世界の糖尿病人口が、2030年には5億5200万人に達することが明らかになっています<sup>1</sup>。日本国内においても、成人の5人に1人が糖尿病か、もしくはその予備群といわれています<sup>2</sup>。糖尿病に関する正しい情報提供が求められるなか、日本糖尿病協会およびサノフィは、糖尿病の進展抑制、および合併症の防止のため、今後もより一層貢献してまいります。

以上

別紙: HbA1c認知向上運動 2013 「測ることからはじめる 糖尿病の予防と治療」イベント概要

---

1 International Diabetes Federation 2011年11月発表

2 厚生労働省 平成19年度「国民健康・栄養調査結果」

## HbA1cについて

HbA1cは赤血球の中に含まれるヘモグロビンにブドウ糖が結合したもので、検査日から過去1～2カ月間の平均血糖値を反映する血糖コントロールの指標です。2010年7月1日より、糖尿病の診断基準として「HbA1c(NGSP)  $\geq$  6.5%」が加わりました。血糖値とは異なり、検診前の食事摂取などの影響を受けないHbA1cは、糖尿病の診断・治療の指標となり、病気の経過を観察するのに役立ちます。合併症予防のためには定期的な測定が重要だといわれています。HbA1cは2012年4月1日より日常診療においても、従来のJDS値から国際標準値であるNGSP値による表記に変更されました。特定健診・特定保健指導に関しては2013年3月31日まで従来通り、JDS値のみを用いていましたが、同年4月1日から、日常臨床・健診など全ての分野において、従来日本で使用されていたJDS値から国際標準値であるNGSP値に表記が変更になりました。

## 公益社団法人 日本糖尿病協会について

日本糖尿病協会は、糖尿病に関する知識の普及啓発、療養指導、糖尿病に関する調査研究、糖尿病治療の標準化や新しい医療導入のための環境整備、国際交流を通じた海外との連携をその理念に掲げ、広く国民の健康増進に寄与することを目的として1961年(昭和36年)に結成されました。患者、医師・歯科医師・コメディカルスタッフ、市民・企業などの連合体として組織された公益社団法人です。現在、約10万5,000人の会員を擁し、都道府県糖尿病協会とともに啓発イベント開催や糖尿病情報誌の発行などを通じて、日本の糖尿病患者のQOL(生活の質)向上に貢献しています。(ホームページ: <http://www.nittokyo.or.jp/> Facebook: <http://www.facebook.com/nittokyo>)

## サノフィについて

サノフィ・グループは、フランス・パリに本社を置きグローバルに多角的事業を展開するヘルスケアリーダーです。世界100カ国に11万人以上の社員を擁するサノフィは、糖尿病治療、ヒト用ワクチン、革新的新薬、コンシューマー・ヘルスケア、新興市場、動物用医薬品、新生ジェンザイムの7つを成長基盤として、患者さんのニーズにフォーカスした治療ソリューションの創出・研究開発・販売を行っています。サノフィは、パリ(EURONEXT:SAN)およびニューヨーク(NYSE:SNY)に上場しています。

日本においては、約3,000人の社員が、「日本の健康と笑顔に貢献し、最も信頼されるヘルスケアリーダーになる」をビジョンに、医薬品の開発・製造・販売を行っています。詳細は、<http://www.sanofi.co.jp>をご参照ください。

## サノフィの糖尿病領域への取り組み

サノフィは、日本の糖尿病領域において経口血糖降下剤とインスリン製剤を提供し、各治療段階において糖尿病患者さんに貢献する製薬企業です。経口血糖降下薬の主力製品として、2型糖尿病に使用されるスルホニルウレア系経口血糖降下薬(SU薬)「アマリール<sup>®</sup>」(一般名:グリメピリド)と、1型および2型糖尿病を対象とする持効型溶解インスリンアナログ製剤の「ランタス<sup>®</sup>」(一般名:インスリン グラルギン[遺伝子組換え])および超速効型インスリンアナログ製剤「アピドラ<sup>®</sup>」(一般名:インスリン グルリジン[遺伝子組換え])を提供しています。サノフィは2008年より、日本糖尿病協会の発展に寄与し、顕著な功績をあげた日本糖尿病協会の会員およびその関係者を表彰する、日本糖尿病協会「サノフィ賞」を後援しています。

また、糖尿病の患者さんや一般の方に向けて、糖尿病の情報ウェブサイト「糖尿病がよくわかるDM Town」([www.dm-town.com](http://www.dm-town.com))、「よくわかるインスリン」([www.dm-town.com/insulin/](http://www.dm-town.com/insulin/))を開設して情報提供を行っています。日本糖尿病協会とサノフィが2006年より毎年実施しているHbA1c認知向上運動のイベントについても“DM-TOWN”([www.dm-town.com/hba1c/index2.html](http://www.dm-town.com/hba1c/index2.html))においてご覧いただけます。

<別紙>

ヘモグロビン・エー・ワン・シー(HbA1c)認知向上運動 2013  
「測ることからはじめる 糖尿病の予防と治療」  
【広島会場 イベント概要】

日時：2013年6月16日(日) 10:00~16:00

場所：紙屋町シャレオ「シャレオ中央広場」

住所：〒730-0011 広島県広島市中区基町地下街100号



プログラム

① 「これだけは知っておこう！ 専門医が語る、糖尿病トークセッション」

第1部： 11:00~12:00

第2部： 13:00~14:00(各、先着80名様)

スピーカー：

南條 輝志男先生(公益社団法人 日本糖尿病協会 理事/和歌山ろうさい病院 病院長)

伊藤 千賀子先生(公益社団法人 日本糖尿病協会 理事/グランドタワーメディカルコート 理事長)

山根 公則先生(NTT西日本 中国健康管理センタ 所長)

石田 和史先生(JA広島総合病院 診療部長 糖尿病センター長 糖尿病・代謝内科主任部長)

② あなたのHbA1c がその場で分かる！「測定&体験ゾーン」

1. HbA1c・血糖値の無料測定(先着250名様)

2. 栄養相談

3. 血圧/体脂肪無料測定

4. 糖尿病に関する情報パネル展示

※プログラムの内容は諸事情により変更の可能性があります。予めご了承ください。

共催： 公益社団法人 日本糖尿病協会、広島県糖尿病協会、  
広島県糖尿病療養指導士認定機構、広島HOMEテレビ、サノフィ株式会社

後援： 広島県医師会糖尿病対策推進会議

協力： 株式会社 サカエ

## 【長野会場 イベント概要】

日時：2013年6月30日(日) 11:00~17:00

場所：アリオ上田 1階 イベントスペース「星のコート」

住所：〒386-0025 長野県上田市天神三丁目5番1号



### プログラム

#### ① あなたの疑問もこれでスッキリ！「専門医が語る 糖尿病トークセッション」

第1部：11:30~12:30

第2部：13:30~14:30(各、先着50名様)

スピーカー：

南條 輝志男先生(公益社団法人日本糖尿病協会 理事/和歌山ろうさい病院 病院長)

大房 裕和先生(長野赤十字病院 健診センター 部長)

#### ② あなたのHbA1c がその場で分かる！「糖尿病 測定&体験ゾーン」

1. HbA1c・血糖値の無料測定(先着250名様)

2. 糖尿病のパネル展示

※プログラムの内容は諸事情により変更の可能性があります。予めご了承ください。

共催：公益社団法人 日本糖尿病協会、長野県糖尿病協会、長野放送、サノフィ株式会社

後援：長野県医師会糖尿病対策推進会議、東北信地域糖尿病療養指導士育成会

協力：株式会社 サカエ

以上